

提案書

「子どもの主体性を尊重した教育・保育」

<子どもの生きる力を育む園づくりのポイント>

北こども園の敷地条件を生かし、子どもたちが生まれながらにして持つ「自ら成長する力」を伸ばす環境、園づくりを行います。

○安心できる（安定した情緒）

大人から見守られている、周囲がよく見える、上り下りしやすい、落ち着く、静かなど安心して過ごせる多様な空間作りを行います。

○五感で感じる（豊かな感性）

木の匂い、美味しい匂い、涼しい、暖かい、暗い、明るい、狭い、広いなど、子どもが五感で感じられる空間や素材を大切に季節や天候を感じられる環境づくりを行います。

○やりたいと思う（自発性）

自分のやりたいことを集中して存分にできるように分かりやすい動線や透明性のある空間づくりを行います。使いたい道具や遊具がいつでも手にとれるように「見える収納」を適材適所に配置します。

○かかわりたいと思う（人間関係）

子ども同士の育ち合いを大切にするため、異年齢の子どもの活動が見え交流できる空間づくりを行います。

○気づきや発見がある（創造性）

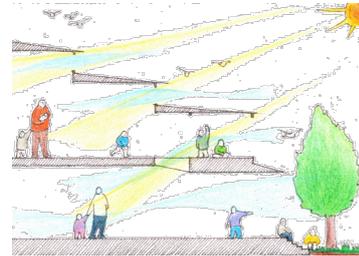
見立てや創造遊びができる細部づくりを行います。広い窓台が椅子やテーブルになったり、高さ50cmの台が乳幼児の手掛けになったりと年齢に応じた寸法とすることで遊びと成長をサポートします。

○センスオブワンダー（健やかな心身）

身近な自然と生き物との出会いは驚きと感動に満ちています。保育室とつながる園庭やデッキ空間で体験する自然環境が身近なものになる空間づくりを行います。

○声を掛け合う（他者との共存）

大人の安心は子どもの安心につながります。保育士と話しやすく親子でほっとできる交流スペースをエントランス空間につくりまします。



五感で感じる空間



同年齢の交流



異年齢の交流

「現地での保育を継続しながらの実施となる工事に向けて、保育園職員や保護者らとどのように協議しながら設計業務を進めていくか」

<ともに考え・ともに見出し・ともにつくる設計プロセス>

保育士・調理師・保護者・市・設計者がこれまでの経験を元に話し合い、北こども園固有のあるべき姿をともに考えることが大切です。設計工程に合わせて様々なワークショップをきめ細やかにを行い、得られた知見を設計に活かし、取り入れる設計プロセスとします。

ワークショップスケジュール

R7/7	8月	9月	10月	11月	12月	R8/1	2月	3月	4~6月	7~9月	10~11月			
① W S	② W S	③ W S	④ W S	⑤ W S	⑥ W S	⑦ W S	⑧ W S	⑨ W S	⑩ W S	⑪ W S	⑫ W S	⑬ W S	⑭ W S	⑮ W S
保 調 親	保 調	保	保	保 調 親	保 調	保	保 調 親							
← 基本設計						← 実施設計								

親：保護者 保：保育士 調：調理士 ※市と設計者はすべて参加

- ①計画を知るWS
 - ・プロボ案の説明
 - ・条件整理
 - ・工事中の安全性
- ②類似施設見学会
- ③活動発見WS
 - ・追浜保育園見学会
 - ・園児のお過ごし方遊び方等

- ④ゾーニングWS
 - ・諸室の関係性
 - ・導線計画
- ⑤段ボールWS
 - ・保育室の使い方
 - ・空間特徴の共有
 - ・ニッチ空間
 - ・小さな段差etc...
 - ・段ボールを使って原寸で体験確認

- ⑥調理関係WS
 - ・食育活動、調理体験活動について
 - ・ランチルーム関係
 - ・調理機器種類/配置
 - ・配膳・搬入動線
- ⑦機能部関係WS
 - ・職員室
 - ・水まわり
 - ・更衣室etc...

- ⑧素材WS
 - ・様々な素材を見て触って体験する
 - ・自然素材の特徴
- ⑨しつらえWS
 - ・家具、ロッカー
 - ・テーブル椅子など
 - ・使い方、寸法、形
 - ・素材の検討

- ⑩外構WS
 - ・どんな植物？
 - ・アプローチ空間
- ⑪基本設計完了WS

- ⑬照明・電気WS
 - ・照明計画の共有
 - ・色温度について
 - ・調光、コンセント
 - ・Wifi、防犯カメラ
- ⑭サイン計画WS
 - ・北こども園らしいサインを考える
- ⑮実施設計確認WS

○ワークショップでは、模型やパース、素材サンプルなどを使用しながら、認識の共有を進めていきます。

<保育を継続しながらの工事における安全性の確保と情報共有>

現保育園での継続保育を安全に行うために情報共有を行います。園の年間行事の把握を初期に行い、行事に支障がないように設計時点で可能な限り工程調整に取り組みます。工事期間中においては詳細工程の共有を工事業者に促し、安全で快適な保育環境を確保するために尽力します。

